



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jim@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

「私たち中小企業家が長崎県を牽引していく」 ～同友会の学びで時代の変化をチャンスに!～

2019年度 会員研修会 開催報告

日時：9月6日(金) 13:30～20:00 会場：パークベルズ大村



副代表理事 山領 進

今回の会員研修会は従来の役員研修会ではなく、あまねく会員に呼びかけて会員研修会と銘打って開催されました。

報告者に中同協前会長、現相談役幹事の愛知同友会 鋤柄修さんを迎え、何のための同友会か、そして我々は経営者としていかにあるべきかを学ぶ機会となりました。

鋤柄さんは愛知県で(株)エステムという水処理の会社を経営されています。自社の労働組合とあい対し奮闘する中で同友会のことを知り自ら入会。労使見解と出会い経営者としての考え方を確立してこられまし



た。経営者はいかに環境が厳しくとも、時代の変化に対応して自社の経営を維持し発展させなければならない。そのために確固たる経営理念を成文化し、方針はその時々社員と共に刷新していくことを訴えられました。やはり経営指針に基づく経営が大切であるという事です。

またリーダーとしていかにあるべきか、経営者の生活習慣病に陥っていないかと問いかけられました。公私混同に対する戒めは、お金のことは勿論、「時間の公私混同」にも話が及びました。あなたは仕事とプライベートのけじめを本当につけられていますか?という事です。討論後の発表でも、経営者としての姿勢を今一度正さなければならないとの意見を多く聞くこ

目次

2019年度 会員研修会 開催報告	1	長崎浦上支部ビジュアルランチ 参加報告	15
各界からの提言	3	事務局企業訪問	16
9月例会報告	4	入会・復会・交代会員紹介	17
中同協 第47回 青年経営者全国交流会 in 熊本 参加報告	10	会員活躍	17
第5回 中同協共同求人・社員教育合同委員会 参加報告	12	理事会報告	18
インターンシップ受け入れ報告(県共同求人委員会)	14	会員動向・会員数	19
ダイヤモンドクラブ 総会・第1回例会 参加報告	14	11月例会案内	20



とができました。

鋤柄さんは愛知同友会代表理事を10年、中同協の幹事長5年、会長を10年歴任してこられています。まさにミスター同友会。組織の中で役職を持ち、会を引っ張っていくという生き様には、自分のため、自社のためだけでなく、全ての会員のため、あるいは世の中のために自らができることを粉骨砕身取り組む真のリーダーの姿勢を見た気がしました。

私たちも自らのリーダーとしての姿勢を改めて問い直し、同友会で学ぶものとして労使見解に基づく経営指針をつくり会社経営をしていくことを確認して研修会を終えました。



投稿募集のご案内

DOYU ニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなどご紹介下さい。

●文字数／約 500 字

●画像／歓迎します

掲載／情報広報委員会にて選考

投稿先／情報広報委員または同友会事務局まで

メール／jimu@nagasaki.doyu.jp



折込サービスのご案内

会員企業の皆様で制作されたチラシを広報誌と一緒に会員に配布するサービスを行っています。

毎月10日迄に事務局宛お届け下さい。発送は毎月20日～月末に行います。支部指定も出来ます。

A4チラシ1枚5円です。**A3チラシは2枚分**となります。ご利用お待ちしております。

各界からの提言

長崎県経営者協会 会長 牧野 武朗



プロフィール

- ・生年月日：1961年5月29日
- ・1986年3月 東京工業大学大学院 生産機械工学 修士課程修了
- ・1986年4月 三菱重工業(株) 技術本部 長崎研究所
トライボロジー総合研究室 入社
- ・2014年4月 ♪技術統括本部横浜研究所長
- ・2019年4月 ♪シニアフェロー総合研究所 副所長兼 長崎造船所長
- ・2019年4月 長崎県経営者協会 会長

長崎県経営者協会は1948年に創立され、昨年創立70周年を迎えることができました。同じ年に、中央で労務問題に対応する経営者団体として日本経営者団体連盟（日経連）が結成されたことに伴い、県内企業経営者の労務問題に対応する経営者団体として、本会が発足したものです。現在は、日本経済団体連合会（経団連）傘下の団体として活動を行っています。

長崎県中小企業家同友会におかれましては、1972年の発足以来会員相互の結束を計るとともに、地域の中小企業の発展に尽力されており、又日頃から活発な活動行っておられることに敬意を表するものです。

日本の産業力の根底には大企業のみでなく、全企業数の9割以上を占める中小企業の存在があることは言うまでもありません。日本の経済の今後の継続的な発展については、中小企業の存在がそのカギを握っているといっても過言ではないと考えます。引き続きの長崎県中小企業家同友会会員企業の活発な活動を期待するものです。

さて、本年は昭和、平成につづく「令和」の時代のスタートの年であります。この令和の年の始まりと同じくして、戦後最大の労働法制の変更が行われようとしています。本年4月から労働基準法の「労働時間の上限規制」が施行されました。引き続き、「同一労働同一賃金」などの各種労働法の改正が実施される予定となっています。そういう意味では「働き方改革元年」と言っているのかもしれませんが。又、「働き方改革」と合わせ、「女性活躍推進」「若者の地元定着」「高齢者の継続就労」など、人口減少下の日本における、労務問題の課題に経営者・企業団体として早急に取り組んでいく必要があります。将来に向けての企業活動の継続のためには、経営者と労働者がWIN・WINの関係を築き上げることが重要だと考えます。

同じ企業団体として、長崎県中小企業家同友会の皆さんとともに、「多様な働き方・生活」のできる社会・地域の創生に向けて活動を行っていきたく考えています。今後ともよろしく願いいたします。

長崎浦上支部 例会報告

日 時	9月30日(月) 18:30～21:00
会 場	長崎新聞文化ホール・アストピア
テ ー マ	同友会 他会にはない魅力 ～36年間の活動の中で見出した魅力とは?～
報 告 者	永池税理士事務所 所長 永池 泰典 会員



36年間の活動経験に基づく同友会の魅力を、存分に分かりやすくご報告いただいた今回の例会。

まず「同友会は会員個人の経営者としての器量づくりの場」であるとして、経営は自転車に乗る乗れないの例え話、片手にロマン、片手にソロバンを持つことの大切さ、経営指

針作成のプロセスや、役員を受け様々な企画や組織運営に携わることで人間関係能力が磨かれ、保有している能力を発揮する能力に変えていき、器量が大きくなっていく（品格が高められていく）ということ等から報告が始まりました。

続いて「同友会は経営者としての疑似体験が多くできる場」として、全国大会参加時のエピソードなどを交えてのお話。そして「同友会は経営に関する相談が気軽にできる場」として、税理士（専門職）という立場も踏まえながら、セカンド・オピニオンの同友会を活用できることのありがたさについてお話いただきました。

同友会は「ボスをつくらない」「会社の規模を問わない」「先輩、後輩がない」「自主、民主、連帯」が根底にあるところが魅力という話で締めくくられ、通常のグループディスカッションとは形を変えて今回行う



「バズ・セッション」の説明へ。テーマはフリーでまとめもなし。とにかく自分をさらけ出して他人との違いがどれだけあるか学んで欲しい、感覚でつめて欲しい、相手の気持ちを聞ける器量を持っているのか？相手がどう思っているのか？言葉の向こう側を聞いて欲しい、という意図を伝え、バズ・セッションスタート。自由さに戸惑う方もいらっしゃいましたが、終了後の各グループの発表では、同じ話を聞いていても掘り深めたところが全グループ異なっていたことが分かり、他人との違いを知り、器量を大きくすることの一端垣間見る体験ができました。ゲスト、入会間もない方はもちろん、ベテランの方も改めて知った同友会の魅力。魅力を周りの方に伝え、仲間づくりに繋げていく決意を新たにすることができた例会だったと思います。

(文責 大城 あゆみ)

長崎出島支部 例会報告

日 時	9月24日(火) 18:00～20:30
会 場	ホテルニュー長崎
テ ー マ	長崎の世界遺産的価値！ ～感謝と過去と未来～
報 告 者	(株)ユニバーサルワーカーズ 代表取締役 久遠 龍史 会員

報告では、神戸で生まれ育ち、俳優業そして格闘家と多彩な才能と経験をされた久遠さんの過去。引退後、奥様の故郷である長崎に初めて来た時に軍艦島を間近で見て、今までにない衝撃と感動を覚えたという話。



その軍艦島とのご縁もあり長崎で起業し、軍艦島に日本最古の鉄筋コンクリート造アパートが現存していることを知り、産業遺産として残していきたいと数々の努力と苦勞をしながら長崎のために尽力され、みごと世界遺産の認定を受けることができました。日に日



に劣化し崩れていく遺産を少しでもわかりやすく形として残していくために、様々なテクノロジーを駆使し完成させた「軍艦島ミュージアム」や長崎のゆるキャラとして知名度も上がってきた「軍艦島のガンショークン」などの開発など、次々と多彩なアイデアと戦略は素晴らしいと刺激を受けることばかりでした。

その他にも長崎で生まれ育った私達が知らない長崎の過去の話、県外出身だからわかる長崎の魅力を沢山語っていただきました。この素晴らしい魅力溢れる長崎を今後、沢山の観光客に伝え若者の県外流出を抑え若者に定着してもらえる魅力的な街にしていこうと力強く思いの溢れる言葉で報告していただきました。

そして次に大村市ですでに施行されている「中小企業振興基本条例」を長崎市でもつくり振興会議を設けていくために「条例をつくろう」と長崎出島支部の会

員の皆様に伝えるために長崎出島支部の政策委員会副委員長の山本さんからの熱い想いの報告と、県の政策委員長の大村支部 時さんから大村市での成功事例などのお話を受け、ディスカッションのテーマ「中小企業振興基本条例についてどう思いますか?」、サブテーマ「あなたにとって良い経営環境とは何ですか?」でそれぞれ熱く討論していただきました。

グループ発表でも長崎に対する熱い想いはみんな同じで力をあわせて条例をつくっていこうと一致団結して例会を締めることができました。

その後懇親会では今回ゲストとして参加して下さった15名の方達にマイクを向け仲間づくりにもつながるように楽しく交流を深めることができました。



(文責 山口 絵理)

大村支部 例会報告

日 時	9月20日(金) 18:30~21:00
会 場	サンスパおおむら 2階 会議室
テ ー マ	社員とともに地域貢献
報 告 者	(株)トータル 代表取締役社長 永木 保史 会員 (諫早支部)



永木さんが代表を務める(株)トータルは、諫早市にある保険代理店で、27名の社員と共にお客様の暮らしを守るために日々活動されています。

若い頃に転職して保険の仕事の始めてからは順調に事業も拡大して業績も伸ばしていましたが、大きな失敗も

経験されてきました。

失敗から脱却するために、永木さんは本業の保険代理店業を法人化して挑戦しました。それぞれのやり方



でやっていた代理店の集まりであったため、ギクシャクした関係のまま代理店を運営し、会社としての方針や計画もありませんでした。そんな中代理店内である事件が起こり、代理店存続の危機に陥ってしまったそうです。これをきっかけに保険会社の協力も得ながらも一度代理店経営をやり直すことになりました。社員・スタッフ全員がお互いに尊敬し、相手を思いやることのできる会社づくりを始めることにしました。また、経営理念を全員で考え、何か問題や課題があると立ち返ることのできる理念もつくりました。保険のプロとして会社全体でお客様を守るために、社員一丸となって同じ方向へベクトルを合わせることで



きるようになったそうです。

保険代理店の経営も他の業界と同じように、少子高齢化や人口減少、そして保険業界を取り締まるルールの強化など、時代の流れが大きく変わり更に厳しくなっています。社員の幸せや地域貢献を目指しながら



らピンチをチャンスに変えていこうという永木さんの姿勢は、今後の中小企業の経営者にとって非常に参考になるものだと感じることができました。

また、社員と同じ目線で積極的に意見やアイデアを取り入れたり、また経営者としての立場で会社全体を見渡すことのできる考え方をっておられるのだと思いました。

(文責 橋口 仁一)

諫早支部 例会報告

日 時	9月19日(木) 17:30～20:00
会 場	長崎ウエスレヤン大学
テ ー マ	言葉のちから
報 告 者	Az Support(株) 代表取締役 中尾 由花 会員(長崎出島支部)



諫早支部は県内で唯一「産学連携委員会」が運営されており、長崎ウエスレヤン大学との連携がなされています。学長が諫早支部に所属する会員のため、その活動は非常に意義のあるものになっています。そういった活動の一環として例年9月はウエスレヤン大学に場所を移し、先生方や生徒さんたちも交えての支部例会を開催しています。

今回は、長崎出島支部の中尾由花さんから、「言葉のちから」というテーマでご報告いただきました。

私達が日頃何気なく使っている言葉ひとつとっても、それを受け取る相手によっても伝わり方は違うということ、そしてそれは相手を傷つけてしまうことも救うこともできるということを改めて考えさせられま

した。先生方もその難しさと可能性が入り混じっておられるようでした。言葉は時代の流れによって変化していきます。現代の言葉はどうでしょうか？インターネットの普及や機械化が進んだこと等によって、コミュニケーション自体が無機質なものになり、人間らしい温かな言葉が失われつつあると感じます。私達は少なからず社員さんを抱える身として、真剣に考えなければなりません。言葉や伝え方ひとつで会社が変わると言っても過言ではありませんし、影響力のある人というのは言葉のちからを持っている人ではないかと感じます。

グループディスカッションでは、「あなたにキャッ



コピーをつけるとすれば何ですか？」というテーマで自由闊達な議論になりました。そして、グループ発表ではこれも恒例になっていますが、学生さんに発表してもらい、その雄弁ぶりに感心されている会員さんが非常に多かったことが印象的でした。言葉について深く考えさせられると共に、こんな学生さん

達を地域に残せるように、私達は選ばれる会社づくりをしていかなければいけないと改めて強く感じる例会となりました。

(文責 時 寛)

島原支部 例会報告

日 時	9月18日(水) 19:00～21:00
会 場	(有)シキシマ 研修室
テ ー マ	しきしま蒲鉾の現状と未来
報 告 者	(有)シキシマ 代表取締役 敷島 広太 会員



移動例会として開催した9月例会は、報告者の敷島さんの経営されている(有)シキシマ社屋2階を会場として開催しました。社屋は1階が店舗・体験ルーム・工場、2階が主にセミナールームとなっています。移動例会にも関わらず多くの会員が集まりましたが会場は広く、快適に開催できました。

冒頭、(有)シキシマと敷島さんご本人のこれまでの歩みを話されました。先代である父親が創業された時は工場兼住居の住まいで風呂は近所で借りるような状況でしたので、よく学生の頃から手伝いをされていたそうです。敷島さん入社後旧社屋を建設されました。先代である父親は反対の中の建設でした。そんな中、発生したのがお兄さんの借金問題でした。多額の借金が判明し一時は倒産も覚悟されたとのこと。そんな経営危機をなんとか乗り切ってきたそうです。

同友会においては、志賀島での経営指針書作成セミナーで一念発起、自社の経営指針書を作成、会社に戻り関係者を招待し発表会を開催。これから進むべき道筋を発表され、先代社長である父親がうれし涙を流されていたそうです。今回の報告では作成されている経営指針書の内容まで公開していただきました。経営指針書は「箸の上げ下げまで分かるように」と学んだと

敷島さん。9つの項目に細分化された具体的内容は大変参考になりました。

この経営指針書を元に経営を拡大し、現社屋を建設。建設された動機は危機感からと話される敷島さん。なにより会社を次世代に繋ぐため、研修室、スクリーン、体験、バスを駐車可能施設を兼ね備えた社屋は完成されました。ネット販売、ふるさと納税、体験(子供連れ、大学生、幼稚園、海外)、また今回の移動例会自体も敷島さんの計画の延長上にあるように思えます。

今回の敷島さんの報告の中で特に印象的な言葉は、なにか有事が発生したとき「誰が悪いではなく、何が問題なのか」、「目先の損得より善悪」、「天の蔵に貯蓄する」、「商売は正々堂々」というものでした。敷島さんにお話をお聞きすると、その人間性と経験されてきたことからと思いますが、毎回背筋が伸びるような感覚になります。私も自社にとっての「三方良し」を考えてみようと思いをしました。

参加された会員も同友会、または経営指針書の必要性を再認識された方も多く、大変学び多き例会となりました。

(文責 荒木 亮)



佐世保支部 例会報告

日 時	9月25日(水) 19:00～21:00
会 場	西の原833スタジオ
テ ー マ	西海みずぎの持ち味、らしさとは
報 告 者	西海みずぎ信用組合 理事長 陣内 純英 氏



今回の例会は、私自身も信用組合の理念や将来のビジネスモデル等について、考える良い機会となりました。報告を受けて大きく3つの事について学ばせていただきました。

1つ目は、私達の営業区域についてです。以前は県北地区のみでしたが、将来的には県内一円に広がるお話でした。限られた地域の中で、「顔の見える範囲」でしか取引できない信用組合にとって、絆の構築という点から考えると一番の利点と感じました。次に、融資のスピード化についてですが、「結論が早い」ということは、理事長始め、支店長、渉外係等が日頃から、その会社の技術力、成長性、経営者の人間性まで見て、財務状況を常に頭に入れているか？に尽きると考えます。3つ目は、私達の業界も今後、金融業のみならず、時代に応じた新しいビジネスモデルの構築が必要だということです。人口減少にマイナス金利、異業種の金融領域の参入等、かつてない逆風が吹いている状況にあります。地域の皆様方と共に相互扶助の具体的な仕組みをつくり、地元に必要な地域金融機関となるよ



う、更に努力を続けて参る所存です。

また、金富良舎様については、現代美術家である松尾栄太郎さんを中心に波佐見発信の新しい文化をつくりだすことを目的とした事業を展開されており、まさに、折り鶴香製作については、当舎の理念そのものが、呼び起こした作品であると思います。今後も異業種の知恵を融合し、波佐見町を拠点に日本中が豊かになる、新しい素敵なビジネスが次々と生まれてくることを期待しております。

最後になりますが、当会の会合前に唱和する「会員の要望、相談にこたえられる会にしよう」、「団結してわれわれの企業を発展させよう」等のスローガンは、私達信用組合の理念とぴったりで、強い親近感を感じております。

当会では、様々なワークショップや講演、経営計画発表会等を通じて、会員同士で経営のノウハウを共有しビジネスマッチングも成立しています。まさに、私達が目指していることを先駆けて行われており、今後も良き手本とさせていただきます。本日、このような機会を与えて下さった同友会の皆様方に深く感謝すると共に例会、懇親会会場として使用させていただいた西の原833スタジオを運営する西海陶器(株)様、波佐見の農産物を使って美味しい手料理を振舞っていただいた波佐見グリーンクラフトツーリズム様、かわちおにぎり様に重ねて御礼を申し上げます。

(文責 横山 昌隆)

北松浦支部 例会報告

日 時	9月24日(火) 18:30～20:30
会 場	松浦シティホテル
テ ー マ	新ブランドGCを立ち上げから現在・今後の戦略
報 告 者	(株)エイコー商事 グローバルクレスト相浦 代表取締役 富川 栄治 会員

今回は、(株)エイコー商事 代表取締役で、(株)グローバルクレストの代表取締役社長でもある富川さん

に、企業運営の変革、組織からの脱却と新組織の立ち上げ、更なる拡大に向けた戦略等々、大変貴重なテーマ内容を以下の通り報告いただきました。

- 過去、全国組織に属して企業展開するにあたり、組織との間に生じた経営方針のズレ、改善に向けた働きかけ、脱却の決断と新組織の立ち上げ。加盟条件の徹底と拡大安定化にある加盟店の現状について
- (株)エイコー商事の会社概要や、直近の売上内容、サービス関連部門の充実化について
- 経営の安定化を目指した経営指針の作成方法。粗利



ベースの積み上げにつなげる社員主導の年度方針作成と進捗管理

- 職場環境整備への取り組み内容。働きやすい環境づくり、徹底した時間管理、人材確保と教育
- 次世代に繋げる経営展開
- 経営者思考の根幹をつくり上げてきたなかで参考にしている書籍の案内

『人本経営』きれいごとを徹底すれば会社は伸びる
著者 小林秀司

大変内容が濃いテーマで、とても40分プラス延長15分の制限時間には収まりがつかない、あっという間の報告となりました。是非続編報告の機会が実現することを楽しみにしております。

富川さんの報告ということで、久しぶりの例会出席



者やゲストの参加があり出席率も高く、ビデオ撮影もあつたりと盛り上がりを感じました。

また、例会開始前には臨時役員会を開き県北両支部に事務局開設を求めることについての賛否、及び両支部合同臨時総会の開催についての賛否を協議しました。

(文責 前川 浩二)

五島支部 例会報告

日 時	9月18日(水) 18:30～21:00
会 場	観光ビル はたなか
テ ー マ	起き上がりこぼしの経営 ～ゴール無き駅伝競争?～
報 告 者	(有)金井建設 代表取締役 金井 政春 会員 (大村支部)



今回はCEGクリーン環境五島の代表を務める谷口一則さんの新入会員バッジ贈呈がありました。五島支部の方々とは面識もあるようで、良い空気の中で打ち



解けての贈呈式です。そして五島支部は今回から、報告の前に企業紹介として、1例会に1会員が短い時間ですがミニプレゼンを実施することになりました。なんとなくこんな仕事をしているだろうな・・・という会員について、少し深く知ることになるので、面白い試みだと感じました。

また、報告に時間が取れない会員向けとしてはちょうどいいサイズとも思いました。メインの9月例会報告は大村支部よりお越しいただいた(有)金井建設の金井政春代表理事による報告です。

主な内容は退職していく人材と、今後の対策。そして安定した人材の確保と教育です。人材確保に悩む企

業も多く、五島支部の皆さんは今後の企業活動に活かそうとよく聞いていました。その中にベトナム人技能実習生の話もあり、以前、私自身も実習生は検討し断念に至りましたが、報告を聞いて、もしかしたらアリではないのかというヒントをいただきました。今回の報告は自分の会社と当てはめながら納得する会員も多く良い勉強になったのではと思います。

(文責 浦上 純人)



中同協 第47回 青年経営者全国交流会 in 熊本 参加報告

日時：9月12・13日(木・金)

会場：ホテル日航熊本、熊本ホテルキャッスル、ホテルメルパルク熊本、KKRホテル熊本

第4分科会

これが共育ちで目指す道！

～味方づくりから始まった会社づくり～

大福コンサルタント(株) 代表取締役副社長 福田 真也 氏

専務理事 山口 善也

福田さんははじめ家業を継ぐ気はなく厳しかった父親とも距離を置いていましたが、あるとき父親から仕事を手伝ってくれとの連絡があり離島で両親と3人で仕事をしたことから仕事のやりがいを感じ入社しました。しかし父親のワンマン経営や社員間の主導権争いに悩み会社の中での自分の役割や立ち位置が見えなくなり次第に孤独を感じるようになっていた時に社内に自分の味方をつくりたいと始めたのが新卒採用でした。最初は求人ブースを訪れる学生が1日に1人だけという時もありましたが、今では20人以上の採用をおこなっています。福田さんは同友会で学んだことをノートにメモを取り見返しながら学んだことを実践し、まず行動することで、社内の空気を変えてくれました。それは、同友会でのいろんな経営者との学びを社員にも知ってもらおうと一緒に合同入社式に出席したり、社員間での勉強会や社員旅行、こども職場参観などのイベントをおこなうことで、自主的な行動をしてくれる社員が増え仲間として支え合う風土ができ、そこから技術の継承やより良い組織づくりなどに繋がっていったことを報告されました。

グループ討論では「社員が成長できる環境をどのようにして整えていますか」というテーマで討論をおこない、まずは経営者がしっかり理念や方向性を示し、その中で社員が考え自主的に行動できる環境とは何なのかを話し合いました。自主的に行動してもらうためにある程度まかせて指摘するときは内容がしっかり伝



わるように意識して丁寧な話をしているという方や、コミュニケーションをしっかりとるために定期的に時間をつくり情報共有をしているなどがありました。座長のまとめでは、福田さんが報告の中で言っていた「過去と他人は変えられない、未来と自分は変えられる」という言葉からま

ずは自分が学び実践して変わること、社長が成長すれば社員も同じく成長していくのではないかというまとめでした。その後の懇親会では他県の方たちと交流することが出来ました。

2日目の記念講演は熊本出身で放送作家・脚本家の小山薫堂氏のお話でした。くまモンの誕生秘話や無駄を省くために自分の会社の受付をパン屋さんにしたことなどとても興味深い内容ばかりでした。

午後からは中同協青年部連絡会が開催され、①熊本青全交の御礼、感想、成果、課題等について森実行委員長より報告がありました。②愛知青全交の企画概要等についての報告がありテーマを「天下布舞」20分科会を予定しているので、各県候補者の選定と参加目標等の準備をしてほしいとのお願いがありました。③2030ビジョン策定プロジェクトについてはこれまでの経過や実行委員の確認2020年の愛知青全交で発表することなどが確認されました。④今後の青全交、連絡会については、(2020・愛知、2021・岐阜、2022・兵庫、2023・広島)までが決定しており今後立候補したい県はテーマや開催意義などをしっ

かりつくりこんで立候補してほしいとの要望がありました。次回は宮崎同友会青年部設立総会前に開催予定です。

九州熊本での青全交でしたが、同じ青年経営者仲間の頑張りを見て刺激を受け多くを学ぶことができた2日間でした。

第5分科会

未来を見据える経営者

～三位一体経営の実践～

(株)菅原設備 代表取締役 **菅原 直樹 氏**

長崎出島支部 久松 恵

今回、初めて青全交に参加させていただき、たくさんの素敵な方々との出会いやお話を聞くことができました。

菅原さんは、愛知で給排水衛生設備業をされており、現在年商が12億円、20年後は100億円を目指して、さらに海外進出していくというビジョンを「人とかかわり」「三位一体」というキーワードの視点から、これまでとこれからの展望をお話しされていました。

話を聞いて感じたことは、会社の発展、拡大のベースは、〔人の幸せの範疇を広げていくこと〕自分と家族の幸せ～社員、会社の幸せ～地域～日本～世界へとその恩恵と笑顔の範囲を広げていくことなのだと感じました。人手不足の現在、雇用もトップダウンの、やらされている仕事では長続きしない。任せること、理解してもらえないことは、わかってもらえるまで本音で伝えていくということ。採用が、決まったら内定理由書を出して、あなたのここが素晴らしいから雇い

たいと伝え、会社の未来とここで働くメリット幸せを共有するというお話も素敵だと思いました。

記念講演では、くまモンの生みの親、小山薫堂氏の講話で、ここでもたくさんの刺激を受けました。何かを企画するときに問う3つのこと。「その企画は新しいか」「その企画は楽しいか」「その企画は誰を幸せにするのか」。

また、アイデアを生み出すときのポイントは、「身の回りのもったいないを探して、それを解決すること」ただ受付嬢を置くことがもったいなかったのも、受付をパン屋にしたなど目から鱗の発想もすごいなと感じました。

しかし、一番心に響いたのは、「幸せは探すものではなく、気付くものだ」という言葉でした。今どれだけの愛と感謝すべきことに囲まれているか。「はっ」としました。当たり前はないと。私の一番好きな言葉は、臭いですが「愛と感謝」で車のナンバーも「あ139」。古くてボロになっていますが、車を変えられない理由はこのナンバーが好きで。くまモンも元々熊本にあるいいところ、恵まれたところ、身近な幸せに気が付いて発信するキャラとして生まれたとのことで、人気の秘密はこれかと思いました。

小さな、いろんな幸せに気が付いて感謝していく。この想いを忘れず、幸せを届けられる仕事を頑張っていこうと改めて思いました。

第9分科会

社員に殴られたあの日から

～ポンコツ経営者が強靱なチームを作れた理由～

(有)徳毛レジン 代表取締役 **徳毛 祐介 氏**

長崎浦上支部 山崎 晃

今年で47回目となる青全交に参加させていただきました。開催地が熊本ということもあり、長崎からは21名の参加となりました。

私が参加しました分科会は、第9分科会で(有)徳毛レジンの徳毛さんの報告です。徳毛さんは婿養子として結婚されて、奥様のお父様が経営する会社へ就職されました。それから後継者としての立場で、現在に至るまでの苦悩や喜びを赤裸々に報告いただきました。

会社が置かれている状況を細かく分析しては、問題提起し解決策を模索して実施していく。そんな日々の中での同友会との出会いは大きな転機となったようで

す。青年部での活動の中で、報告者となる機会があり、その際に自己の抱える悩みを開示すると、徳毛さんが思っていた以上に先輩経営者の方々が協力して、問題解決へ導いてくださいました。このことが経営者としての徳毛さんを大きく変えることになりました。

徳毛さんの歴史の中で、入社から約6年間は変革と挑戦の連続だったようです。ただ、その6年間は今の徳毛さんの基盤となり、現在までやってこれた、ということでした。「理念と指針の先にビジョンがある」という徳毛さんの考えに共感しつつ、笑いあり、涙ありの素晴らしい報告を聞いて、私も改めて自身の経営に対する考えを見つめ直す良い機会となりました。

その後のグループ討論は、テーマに沿って変革や挑戦に関する内容で行われました。私が青全交への参加が初めてということもあり、他県の青年部の方と討論は新鮮味があり大変有意義な時間でした。この分科会での学びを無駄にしないよう、できることから実践していきたいと思えます。

そして翌日の小山氏の記念講演も大変素晴らしい内容で、しっかりと学ぶことができました。「全てのクリエイティブは幸せを創造するため」、この言葉がとても心に残り、これからの自社の未来の方針を定めるヒントを得ることができました。

今回の青全交に参加させていただき、交流の中で、これまでとまた違った様々な考えに接することができました。このことを糧として、自身を成長させ、地元長崎の仲間と切磋琢磨しながら全国に誇れる青年経営者会になるよう邁進していきたいと思っています。

第 11 分科会

自ら挑戦する社員が育った理由

～「バカ社長」が気付いた経営観～

東京魚類容器(株) 代表取締役 原 周作 氏

長崎青年経営者会 会長 飛田 精一

分科会報告では「バカ社長」と言われるところから始まり、そこから社長が同友会の学びを持ち帰り、しっかりと実践していく中で社員も会社が良くなっていくことを理解していく、そして、さらには社員自らが同友会で学んでいる姿に感動しました。

また社員が輝くためには、とのテーマのもと、社長が輝かせるのではなく社員が主体的に輝くことが大切で社長が未来に向かって、しっかりとビジョンを立てること、社長が自ら輝くことが大切であると学びました。

夜の懇親会では、今まで参加した全国大会で知り合った社長さんたちと再会することができ、楽しい夜を迎えることができました。

翌日の全体会では「幸せの企画術」のテーマで小山薫堂氏より記念講演があり、身の回りにあるもったいないにアイデアを加えることにより新しい価値が生まれるということを、いろいろな事例をまじえて聞くことができました。

また、企画とは「もったいない」を探して、それを解決する方法を考えること、さらに企画することは、新しいか？楽しいか？誰を幸せにするか？幸せを創造することであると学びました。

午後からは、中同協青年部連絡会に参加に参加。青年部の活動で、どう会社が変わったか！経営者は、体で学ばなければいけないと学びました。また長崎青全交を誘致しようとしたのですが、今回から誘致の条件などが必要になり来年からの立候補受付となり、今回は断念となりました。来年こそは誘致して参ります。

今回も全国大会に参加をすることができ、全国の素晴らしい経営者の皆さんと交流をすることができました。また全国大会に参加できるように頑張ってお参ります。

第 5 回 中同協共同求人・社員教育合同委員会 参加報告

日時：9月5・6日(木・金) 会場：TKPガーデンシティPREMIUM田町

理事・共同求人委員長 橋口 久

2日間に渡り都内で開催された「第5回中同協・共同求人・社員教育合同委員会」。今回非常に嬉しかったのは、県共同求人委員会副委員長の野方さん(諫早)と、県共育委員会副委員長で、県共同求人委員会の役員でもある時さん(諫早)のご参加だ。時さんは共育委員としての参加であったが、県の共同求人委員会に携わる者としては3名が今回の中同協の会議に参加し、最前線の情報を得て、全国で活躍する会員と交流することができた。これは、今後の長崎同友会の取り組みにとって、大きな意味を持つ。これも理事会で県委員長以外の中同協会議参加の予算を通していただいた、理事の皆様へ感謝申し上げたい。

今回参加して下記のことを学ばせていただいた。

■学生には、中小企業ではなく、「地元企業」と呼ぼう。■社員満足度が低い会社には、採用が困難な時

代。まずES。■儲からないのは社長の責任。社員の責任にしていないか？■共育=セミナーではない。共育とは、経営指針を全社員と共有していく過程。指針の成文化と実践を通じた浸透。つまり三位一体の経営の大切さに行き着く。だからこそ、まずは経営指針の成文化を。■職場で、生きがい、やりがい、働きがい生まれるのは、経営指針の実践。それぞれの役割に応じた方針を展開できるため、会社の自分の存在価値が認識でき、定着率の向上に繋がる。■求人活動において、教師には「紹介してください」ではなく、「人を生かす経営に取り組む自社」を語る。■同友会の各委員会や支部が1つの教育機関と接するときは、点ではなく面(横軸を刺して)でアプローチ。■県理事が同友会らしい企業づくりに率先して取り組み、体現者(語り部)となる。それ以上の増強はない。代表理事を始め県理事は、指針書を成文化し、発表会を開催しているか？■合同企業説明会は全国苦戦。打開策は、待つのではなく、企業が動くこと。■JOBWAYの認

知度は低いですが、地元企業のサイトとしてはニッチの魅力あり。どう運用するかが鍵。マイナビやリクナビと同じ認識で活用してはダメ。■同友会に入会したら、

同友会らしい企業づくりを実践しないと意味がない。労使見解を学び、経営指針の成文化と実践を通して3つの目的を果たす。

県共育委員会副委員長 時 寛

中同協の共同求人・社員教育の合同委員会一日目は「人を生かす経営の総合実践で魅力ある企業づくり」というテーマで、加藤明彦さんが報告されました。改めて同友会の共同求人と社員教育の考え方、更には「人を生かす経営」を深く考えるとともに、この考え方を各地域に持ち帰り実践することによって、会社は当然のこととして、地域全体にも多大なる貢献ができると確信しています。社員さんに大きなめあてを持ってもらうために、経営者は会社が何のために存在するのかというところに今一度立ち返り、その大きな目的を理念や指針に反映させて浸透させることの重要性を感じました。

2日目は、社員教育委員会に参加し「企業変革支援プログラムの活用」というテーマで澤田努さんが報告されました。澤田さんの会社は社員さんを巻き込みながら企業変革プログラムを使った変革の実践を進めたことよって、「売上が全て」のブラック企業から、「理念経営の企業」へと変革されたとの内容で、その変革が簡単でなかったことは短い報告の中でも伝わってきました。まず、経営者自身が変わろう、変えようと強

い決意をし、「共に育つ」という考え方で社員さんと関わり、この信念を貫き通すことでしか、この変革はあり得ないと感じました。そして、その想いを持っていざ実践する時のバイブルになったものが、この企業変革支援プログラムです。

長崎同友会では、企業変革支援プログラムは殆ど使用されていませんし、それどころかその重要性も伝わっていません。率直に本当にもったいないことです。会社づくりには「あり方」と「やり方」が両輪となっていて、共感を得ながらバランス良く動いている必要がありますが、その「やり方」の部分すなわち「指針浸透の実践」において、バイブルとなり得る貴重なものですので、あらゆる場面でその価値と活用方法を伝えていくべきだと感じています。

これから私達には前例のない激動の社会が待ち受けています。そうなる犠牲にされかねない「人間らしい心の豊かさ」を維持していくために血の通った生きた理念を掲げ、指針を描き、それに共感する人を増やしていくことが「人を生かす経営」であり、そこに関わる共育・共同求人委員会の最大の目的であると感じました。2日間を通して大変貴重な学びとなりました。

県共同求人委員会副委員長 野方 康平

現代の日本企業で共通の悩みが「人手不足」であると思います。その問題に対して、どのように採用をして、社員さんと共に生き生きと働かれているのかをエイベックス(株)代表取締役会長の加藤明彦さんよりご報告いただきました。

まずは、「なぜ人手不足になっているのか？」という問題に対して掘り下げて考え、対策を打つべきだと伝えられました。採用活動をする前に、まずは自社に社員が定着しているのか？今いる社員の満足度はどうなのか？から考えて、魅力ある企業づくりが必要であるとのこと。経営指針の成文化、労使見解を踏まえて取り組むべきだということです。

ただし、加藤さんの会社ではすべてをトップダウンで行うのではなく、社員にも、入社したいと考えている学生に対しても、考えさせることを徹底的にされておられました。「働くうえでのやりがいは何なのか？」、「仕事を通して何を成し遂げたいのか？」などを考えさせ、自己の幸せの追求をさせることで、共に成長する風土がつけられるとのことでした。

報告を受けて参加された会員の方々は、社員とのコミュニケーションの場を増やし会社と社員が共に成長

できる仕組みの中で、継続して「実践」を徹底していくこと。更に改善をしながら成長させていくことが大切だと感じられていました。

二日目の中同協共同求人委員会では、同友会としての向き合い方についての討論がなされました。まずは同友会として求人活動は共同求人委員のみならず全体で取り組んでいく必要があるという共通認識を持ちました。日々変化している採用の環境の中で、同友会としての共同求人活動は日本の経済の中心として必要な人材を発見し教育することである。という使命感のもと、活動をしていかなければならないということです。

そのために、「適合メディア宣言」について正しく理解し、対策を打つこと。各学校との連携をとるために地道に活動を継続することは基盤として重要なことだということでした。しかしながら多くの会員企業がまだまだ対応できていないという現状がある中で、各県の共同求人委員は中心となり一社でも多く、「若者に選ばれる企業」になるために土台づくりを整えていく責務があるということ強く感じた委員会でした。

世の中に蔓延している中小企業の負のイメージを払拭させ、良い企業と地域の経済をつくっていく根幹がこの共同求人活動であるということ再認識させていただきました。

インターンシップ受け入れ報告（県共同求人委員会）

諫早支部 野方 康平
((株)LTU)



長崎純心大学の女子生徒を1名ずつ別日程で2名受け入れをさせていただきました。

営業、事務、施工など色々な仕事を体験していただき、学生さんの今後の人生において視野を広く持っていただきたいと思い、カリキュラムを組みました。カリキュラムを終えて学生さんが一番感じられたのはコミュニケーションの大切さだったようです。受け入れ

る企業側としても想いを伝えること、多くの社員と交流させること、そして学生の想いも共有することが相互にとって学びになるのだということを感じたインターンシップでした。



長崎浦上支部 吉澤 健
((株)ヤマハマリン西九州)

事前に実習の目標、やりたいことを聞き取り、カリキュラムを作成し実働5日間実施しました。

具体的な内容は社員さんが考え、社員さん目線のインターンシップです。お客様や業界関係各社へ同行訪問する社外活動と女性が関わる総務・経理の時間を大事にしました。

最終日の報告ランチ会では、①細かい心遣いでお客様の未来を考える。②販売しやすい環境を創るには相手の立場で行動など気づきと、様々なことに挑戦し視野を広げたいと今後の決意が述べられました。

理念・方針を外部に伝える機会の少ない社員さん



にとって、伝えることで自身に伝わるよい機会となっています。

ダイヤモンドクラブ 総会・第1回例会 参加報告

日時：9月2日(月) 18:00～20:30 会場：長崎シティーホテル アネックス3

初めてダイヤモンドクラブに出席させていただきました。

思えば、1997年5月に44歳で同友会諫早支部に入会以来、早くも22年4か月経ちました。39歳で脱サラしたものの、売り上げは低迷し悩んでいるときに、知人に勧められて始めて例会に参加しました。その時のことを今でもはっきり覚えています。人前で話すことがこの世の中で一番嫌いな私が、いきなりグ

ループ発表をさせられ、しどろもどろになりながら必死に発表をしました。その時思ったことがこの会に入れば何とか人前で話せるようになるのではないか、ということでした。

家に帰ってから、家内に「同友会ってすごいところばい」と興奮して話したことを今でも昨日のように思い出します。それ以来同友会にどっぷりはまり、翌年志賀島の経営計画特別セミナーを受講しました。そ



ここでは自分の殻が割れるという体験をし、この世が楽しくてたまらない、話したくてたまらないという、不思議な感覚になりました。帰ってからある保険会社の集いがあったのですが、何か話したい方はいませんか？という司会者の言葉に、なんと、ハイと手を挙げて

いるではありませんか！昔の自分ではありえないことでした。壇上に立つと、思いの丈をべらべらしゃべって自分の席に帰ると、見ず知らずのおばさんから、「あんなの話は良かったよ！」と声をかけてもらいました。生まれて初めて自分の話が褒められて、うれしくてうれしくてたまりませんでした。このような体験も同友会に入会したことによって経験させてもらいましたし、自己変革をさせてもらったように思い、感謝しております。ダイヤモンドクラブはすばらしい大先輩ばかりで、私のような未熟者が入るには恐れ多いと思って、はいるのをためらっていましたが、思い



切って参加してみると、皆さん温かい方ばかりで、いい雰囲気です。安心していただきました。今後ともよろしく願っています。

(文責 諫早支部 松田 卓)

長崎浦上支部ビジカルランチ 参加報告

日時：第1回：7月16日(火) 報告者：LIB・World 代表者 金田 昭子 会員

第2回：8月20日(火) 報告者：(株)マルカ不動産企画 代表取締役 梶原 由美 会員

第3回：9月19日(木) 報告者：特別回のため報告者無し

会場：WoodWorkLaboHITOKITO (ウッドワークラボヒトキト) ※第1回・第2回、TOU ※第3回



今期よりいよいよ長崎浦上支部でもビジカルランチをスタートしました。仕事の都合でなかなか例会に参加できない会員の方やいきなり例会に参加するのはハードルが高いゲストの方に、もっと気軽に気楽に参加して欲しいという思いもあり、十数名という規模で全員でひとつのテーブルを囲んで、話しを聞いて、食事を共にし、親睦を深めています。9月は3回目にし

て早くもランチではなくディナーという特別企画を開催。会員のご家族が経営されるフレンチレストランを貸し切ったディナー会は、ゲストの方も含め会話も、食事もお酒もとても進んで、全員大盛りあがりの思い出深い会となりました。これからも継続して開催をしていくことで、共に学ぶ仲間を増やしていきます。

(文責 大城 あゆみ)

事務局企業訪問

今回は五島支部の例会委員長として活躍いただいています宮田 秀樹さん((株)おおあらの里)にお話しを伺いました。



【(株)おおあらの里】

2012年4月設立。訪問介護「おおあらの里」、有料老人ホーム「すみれの里」を運営しています。社は施設所在地の大荒町にちなんでつけられました。

【介護の仕事への出会い】

中五島で生まれ育った宮田さんは高校生の時に祖父の介護のため、家族で五島市に移り住みました。この時に介護を手伝うことで、介護職に対する興味を持つようになりました。

高校卒業後は、介護とは違う業種に就職をするのですが、やはり介護の仕事がしたいと考えヘルパーの養成所に通い資格を取得、介護職に就くこととなりました。

【施設立ち上げ】

大荒町は住宅街で老人ホームが少なく、地域からの要望に応える形で消防士を定年退職した義理の父が施設を立ち上げることになりました。その時に義父から「あとからでもいいから、手伝ってくれないか?」と誘いがありました。当時勤めていた上司に相談したところ「せっかくだから立ち上げから携わってはどうか」とのアドバイスもあり、施設の立ち上げから携わることになり、この時に背中を押してくれた上司は、退職後も相談にのってもらうこともあり、非常に感謝をしていると宮田さんは言われました。

【同友会の出会い】

同友会には高校の先輩でもある山本さん((有)五島食産)からの誘いで入会しました。

ゲスト参加した例会では経営計画を包み隠さずに見せており、同友会の仲間として協力しあう姿に驚き、



会員の要望相談に応える会なんだと感じたそうです。入会後は例会に参加をすることで、自分が井の中の蛙だったなと気付くきっかけになり、まだまだ頑張れると気持ちが変わったことや、いろいろな人の話を聞くうちに視野も広がり、自身の成長につながっていると感じているそうです。

また例会や同友会活動に参加するうちに、理念の必要性を感じ、昨年理念の策定をすることもできたということでした。

【今後の展望】

国の方針は在宅介護を拡げる方向で、亡くなるまで自宅で暮らしたいという人も増えてきています。今後はそうした方への要望に応え、またただ単に訪問介護をするだけでなく、理念に込めた思いの通りに喜んでもらえるようにサービスを提供し、義理の父が立ち上げてくれた施設を大きくしたいと力強く語られています。

今回は快く企業訪問に応じていただきありがとうございました。これからの宮田さんとおおあらの里のさらなる飛躍を祈念いたします。

<経営理念>

1. 私たちは日本一感謝の言葉が聞かれる訪問介護事業所を目指します。
2. 私たちはご利用者様と訪問介護という仕事、そして(株)おおあらの里が自慢です。
3. 私たちは高齢者の喜びのために挑戦します。

<会社概要>

(株)おおあらの里

住所：〒850-0017 長崎県五島市大荒町1094-1

TEL：0959-72-1266 FAX：0959-72-1266

(文責 事務局 田口 友廣)

新入会員の皆さんです <9月入会・復会・交代> (敬称略)

<入会>

支部名	長崎出島支部		
氏名	ひらやま ゆみ 平山 祐実		
企業名	大同生命保険(株)		
役職名			
企業住所	〒850-0031 長崎市桜町5-3(長崎支社住所)		
TEL	095-826-0161	FAX	095-820-4859
業種	企業福利厚生プランナー		
企業PR	法人会商工会議所の会員様を中心に企業向けの福利厚生制度をご提案推進させていただいております。社長様、従業員様に安心して働いていただける環境をお届けしています。		
スポンサー	田川 明美		



<復会(交代を伴う)>

支部名	長崎出島支部		
氏名	やまぐち えつこ 山口 悦子		
企業名	(株)クレインいずや		
役職名	専務取締役		
企業住所	〒850-0871 長崎市麴屋町4-4		
TEL	095-824-7101	FAX	095-824-0225
業種	弁当製造販売		
企業PR	地元に着着したお弁当屋で健康的で体に良いお弁当作りで定評があります。今後ともどうぞよろしくお願いたします。		
スポンサー	庄司 博昭		



支部名	島原支部		
氏名	ひらかわ ちから 平川 主税		
企業名	平川製麺		
役職名	代表者		
企業住所	〒859-2204 南島原市有家町蒲河2518		
TEL	0957-82-2628	FAX	0957-82-2628
業種	製麺業		
企業PR	また食べたいと言ってもらえる麺作りをモットーに丹精込めて製造しております。		
スポンサー	平野 大介		



<交代>

支部名	長崎浦上支部		
氏名	なかむら だいすけ 中村 大介		
企業名	(有)三陽自動車工業		
役職名	取締役		
企業住所	〒852-8061 長崎市滑石2丁目14-3		
TEL	095-856-0161	FAX	095-856-9862
業種	新車・中古車販売、自動車整備・钣金塗装		
企業PR	私たちは、お客様に安心してカーライフを楽しんでいただくために仕事をしています。地域の皆様と社員全員の笑顔が少しずつでも増やしていくことを目標に日々人と人とのつながりを大切にしています。		
前会員	中村 真一郎		



支部名	佐世保支部		
氏名	わたなべ まさみ 渡辺 真美		
企業名	司会・イベントプロデュース Voice Lino		
役職名	代表者		
企業住所	〒857-0852 佐世保市千尽町		
TEL	090-7923-4845	FAX	
業種	フリーアナウンサー		
スポンサー	永吉 秀行		



役立つ事業 積極的に応援



西海みずき信組

「西海みずき信用組合」(佐世保市)は、O18(佐世保中央信用)との合併後、その結果、合併後の事業年1月、佐世保中央信用と比佐約信とが対等合併で発足した。新信組の課題は、取り扱っていた小規模事業者などへの「事業性」が乏しかったこと。合併後、東7月、先りだした。西海みずき信組は、金富良野の拠点である旧銀行跡の改修費を懸念し、地元のために「地元のために富良野がある」として、現任部長で活躍する「起し」積極的に応援する。現代美術家・松尾宋太郎氏をリタに「波見」なくはならない存在に「波見」の新しい文化をつく

りつことを目的とした事業を展開すること。金富良野は長崎県産資源を、世界平和を願って寄贈され、長期間保存されている千羽鶴を再活用、燃やした灰をお香、折鶴香として今年7月、先りだした。西海みずき信組は、金富良野の拠点である旧銀行跡の改修費を懸念し、地元のために「地元のために富良野がある」として、現任部長で活躍する「起し」積極的に応援する。現代美術家・松尾宋太郎氏をリタに「波見」なくはならない存在に「波見」の新しい文化をつく

(上) 長崎新聞 9月3日 佐世保支部 横山 昌隆 会員
(左) 長崎新聞 10月1日 長崎出島支部 久遠 龍史 会員

会員活躍



長崎市松が枝町「はまで、イタリア・ローマの観光名所真実の口」に、8月末オムに暗め、少し勇気を試され「さやこ」うわ「など、悲鳴にも似た来場者の声か聞こえてくる。○：世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である端島(軍艦島)をモチーフにしたキャラクター「ガンジョウくん」のPRルーム。チャームポイントである厚い唇の中に手を入れる新コンテンツ「写真」が設置された。それ

(輔野沙織)

10月理事会 報告

10月3日(木) つくば倶楽部 出席27名 欠席2名

開会あいさつ (抜粋) - 金井代表理事

消費税増から3日、あまり実感がありませんが今後支払いや請求等の際に実感するのかと思います。政府においては増税分を有効的に使ってほしいと思います。経営フォーラムまで2週間となりました。成功に向けて率先して参加しましょう。引き続き下半期も皆様よろしくお祈りいたします。

仲間づくりについて

- 1) 入会・退会の承認について
- 入会2名、退会6名を承認
- 2) 仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について
・ 原田仲間づくり委員長 総括 - (代理：峰事務局次長)
ほぼ全支部から参加いただき委員会を開催しました。今後は11月14日の第2回県下一斉仲間づくりの日に向け、仲間づくり委員長を中心に各支部例会などで紹介者の情報収集が求められると思います。当初原田委員長は「数を追わない仲間づくり」と掲げておりましたが、前回の委員会では各支部目標達成に向け、具体的にあと何名の入会が必要か、という目標設定の必要性を確認しました。仲間づくり委員長だけではなく支部長や他の役員さん、会員さんを巻き込んでぜひ必達に向けよろしくお祈りいたします。

・ 金井代表理事 -
委員会自体はとて素晴らしい雰囲気で行われているがなぜ増えないのかと思う。このまま期首を割ってしまうのかということも懸念されるが、長崎同友会はここ10年連続で純増している。この流れは止めてはいけない。全研で機運が高まり、全国からも注目されているので11月14日の仲間づくりの日に向け、臨時委員会の開催も検討してほしい。

協議・承認事項

- 1) 経営フォーラム 2021年度・2022年度 設営担当順番入れ替えについて
→承認
- 2) 来期代表理事の推薦承認について - 松尾役員選考委員長(理事会前に役員選考委員会を開催)
→役員選考委員会にて満場一致で金井会員を次期代表理事に推薦することを承認したことを受け、本理事会で協議
→金井会員を次期代表理事に依頼することを承認。総会へ上程する。
- 3) 会員研修会を振り返って 名称改称・収支承認について - 山領副代表理事
→名称を「役員研修会」に戻すことおよび収支を承認
- 4) 賀詞交歓会 次第案・予算案・動員目標の承認について - 山田事務局長
・ 動員目標案

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
会員数	111	113	100	91	70	183	40	32	740
目標	35	35	20	20	15	30	5	5	165

→次第案、予算案および動員目標案を承認

- 5) 長崎浦上支部・長崎出島支部からの予算要求について
「長崎市中小企業振興基本条例策定プロジェクト」推進費用8万円
※西村長崎浦上支部長、田中長崎出島支部長より報告
→承認

報告・連絡事項

- 1) 9月 県本部・支部・委員会等の活動状況について
《委員会等》

例会	<p>9月27日(金) 19時00分～ 会場 シーハットおむら 出席者 合計9名</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. グループディスカッションシートについて 2. 各支部8月例会の「評価・検証」報告 3. 来期例会について 4. 事務局より、その他持ち寄り議題 ・SDGsの勉強会を11月8日(金)に開催
経労	<p>(1)今年度の活動方針 「経営労働委員会の活動を全支部に拡大し、活発化する」</p> <p>(2)具体的な活動について</p> <ol style="list-style-type: none"> 2-1 「経営者塾」の開催 2-2 経営指針実践セミナー(第3期)の開催 2-3 県委員会と支部委員会活動の活発化 <p>(今回の活動)</p> <ol style="list-style-type: none"> 2-1 「経営者塾」の開催 ⇒ 印刷準備中 2-2 「経営指針実践セミナー」の開催 ⇒9/28 第3回開催 参加者7名/申込み14名 2-3 県委員会と支部委員会活動の活発化 ・8/29-30 2019第6回経営労働問題全国交流会 in 盛岡 参加 ・8/30 2019年度 第1回中同協経営労働委員長会議 参加 ・9/26 2019年度 第2回経営労働委員会 開催
共育	<p>11月16日 新入社員フォローアップセミナー開催予定 場所：諫早市社会福祉会館 時間：13:00-16:00 その後：県共育委員会 同日16:00-17:00 場所 同会場 セミナーテーマ 伝える力(伝達力)</p>
政策	<p>■9/6(金) 会員研修会@パークベルズ大村に参加 同友会の歴史と理念から何を学び実践するのかを中同協勤柄相談役の豊富な経験を基にお話いただいた。特に、経営者として社員から、そして社会から信用されるに至らないと何をしても成功しないことを学んだ。</p> <p>■9/12・13(木・金) 青全交IN熊本@熊本市内各所に参加 参加分科会(海外展開)では、やるときめたらスピード感を持ってとにかく動くことが肝要だと学んだ。また記念講演会(小山薫堂氏)では、身の回りの何気なく存在しているものでも発想力によっては新たな命を吹き込み新価値として社会に役立てることが出来ることを知った。</p> <p>■9/24(火) 長崎出島支部9月例会@ホテルニュー長崎に参加 報告者(久遠龍史氏)の世界遺産保護とそれを生かした地域活性化策に対するの考えを知ると同時に、その為にはやはり行政連携が必要だと確信した。私からもだからこそ「中小企業振興基本条例」制定を急ぐ旨のメッセージを参加者へお伝えした。</p> <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「2019景況レポート」作成に伴う、長崎大学による同友会会員企業調査(14社)を実施 ・10/19(土)静岡同友会の条例勉強会にて報告(報告者：時 忠之会員、座長：宮田 正一会員)。 ・10/21(月)19:00～「長崎市中小企業振興基本条例制定PT」第2回プロジェクト会議参加。 ・11/5(火)18:00～「長崎県産業労働部との意見交換会(公開)」を実施予定。

情報
広報

9月27日(金) 19時00分～ 同友会事務局 出席者7名
 1. 広報誌 編集会議
 2. ホームページについて
 ・e.doyu掲示板にてリンク集活用の呼びかけ(相互リンクの協力お願い含む)
 3. e.doyu利用
 8月アクセス数64% 返信率57%に推移している
 4. その他・情報交換
 メーリングアプリ グーグルグループ試験

仲間
づくり

9月17日(火) 委員会開催
 ・入会申込書受付から入会までの流れについて成文化
 ・各支部から状況報告→情報共有
 ・11月14日開催の次回仲間づくりの日に向けた取り組みの確認
 ・各支部の状況をLINE等で情報共有。
 ・目標数の共有と確認方法の確立

ビジョン

9月理事会にて“ビジョンの周知活動”について再提案し、下記の2点を承認いただきました。
 ①グループディスカッションシート(A3サイズ)裏面に「第5次ビジョン」及び「ビジョン到達に向けての7つの柱」を印刷。
 ②印刷については、各支部で対応いただく。
 各支部例会にて取り組んでいただき、今年度中実施予定。また、ビジョン委員によって「委員会報告」で、毎月2委員会程度“第5次ビジョン”の説明を行う。

ダイバー
シティ

9月17日(火)19時～シーハットおおむら。出席者8名
 4委員会の報告で11月15日社長飯開催予定
 SDGsの勉強会を開催予定
 11月例会について
 11月18日諫早ロイヤルベルズ
 報告者 野副会員(諫早支部)
 「あなたの不安解決します、外国人技能実習生を受け入れてみませんか？」
 今後の活動課題として「ひきこもり」「女性の多くのキャリア復帰」「働き方改革」
 委員会の活発化をしないといけない。

共同
求人

9月5日/6日
 ・中同協共同求人社員教育合同委員会・共同求人委員会参加(@東京田町)
 出席者:橋口県委員長(佐世保)、野方県副委員長(諫早)
 *時共同求人県委員(諫早)も共育委員会県副委員長として出席
 9月13日
 ・第4回共同求人委員会開催(@つくば倶楽部)
 1. 同友会型インターンシップガイドライン
 2. 4委員会報告(SDGs勉強会、経営者塾パンフレット進捗、支部内での4委員会進捗)

ト進捗、支部内での4委員会進捗)
 3. 社長飯(11月15日に開催。)
 4. 参加報告、中同協、各支部委員会活動(大村、諫早、佐世保)
 5. 共同求人委員会の愛称決定(学生コンペ)とリーフレット作成(対外配布用)
 6. 広報誌定期連載:インターンシップ受入報告
 7. 新就活ルール:マイナビとの状況共有

青年
経営
者会

9/11役員会
 サマーイベントの反省、9月の青全交、10月の経営フォーラム、九州沖縄合同例会と長崎青全交の誘致について議論

2) 第26回 経営フォーラムについて-平湯実行委員長・廣谷副実行委員長
 ・日時/10月19日(土) 13:00~20:45
 ・会場/国立諫早青少年自然の家 ・参加費/6,000円
 ・テーマ/「令和維新」~大自然の中で初心に戻り 次代の経営力を創る~
 ・登録状況確認(10/2 13時現在 322名)(目標達成・長崎出島・大村・北松浦・諫早)

3) 会員研修会を振り返って-山領担当副代表理事
 ・日時/9月6日(金) 13:30~20:00
 ・会場/パークベルズ大村
 ・登録出席状況(目標150-第1次目標に自主的に+a)

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
第1次目標	13	11	15	15	18	18	6	6	102
登録	3	7	24	14	6	12	0	0	66
出席	3	7	23	12	6	11	1	0	63
懇親会登録	2	2	11	4	2	5	0	0	26
懇親会出席	2	2	10	4	2	3	0	0	23

4) 人を生かす経営4委員会より-宇土経営労働委員長
 10月2日に4委員会を開催。現在の長崎同友会は今までの歴史を踏まえ、自社経営と同友会運動が不離一体という今後のあるべき姿を構築する時だという議論を行った。今後経営労働および共同求人委員会から正式な提案書を提出し議論を深めていただきたいと考えている。

5) 例会について(更なる充実をめざして)-本多例会委員長
 例会中、あるいは懇親会にて企業PRの時間を取り入れる支部が増えてきた。なるべく多くの会員に発言やPRの場面をつくることも効果的だと思う。

6) 中同協 主要行事の参加状況と報告
 ・共同求人社員教育合同委員会・共同求人委員会 参加報告
 -橋口共同求人委員長より

※次回開催 11月7日(木) 19時 つくば倶楽部

会員動向

●企業住所等変更 **佐藤 研二 会員** (長崎浦上支部) **宇土 敏郎 会員** (大村支部) **野方 康平 会員** (諫早支部)
 新会社名: 社会保険労務士法人 佐藤事務所 新役職: 代表社員 新TEL番号: 090-8352-0347 新会社名: (株)LTU 新TEL番号: 0957-54-7798

宮田 秀樹 会員 (五島支部)
 新役職: 取締役

退会者 (敬称略)

会員数 (10月1日現在)

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	134	130	125	100	90	200	45	38	900
期首	113	112	97	91	68	181	42	31	735
現在	111	112	100	91	69	183	40	32	738

会員名	会社名	支部名	入会年月
下村 理子	ラウンジ アロー	長崎浦上	2017年12月
上松 英臣	西日本新聞エリアセンター大村東	大村	2016年10月
増田 俊一	ポップ折込広告企画	大村	2018年9月
小柳 順一	エコロミー	諫早	2014年12月
吉岡 寿恵	トータルビューティーサロン・アプロディーテ	諫早	2014年11月
横田 金吾	(株)横田ファーム	島原	2017年12月

11月例会案内

他支部の例会情報は、ホームページや e.doyu から閲覧・参加申込可能です。

●長崎浦上支部

日 時 11月25日(月) 18:30～21:00
会 場 長崎新聞文化ホール・アストピア
テ ー マ 未定
報 告 者 (有)京弥 代表取締役社長
齊藤 誠史 会員

- ・自己紹介、会社紹介。
- ・日本の伝統衣装「和服」と、業界の今昔。廃れ行く伝統産業
- ・分業と総合加工。・技術の継承、技術者の価値とは。
- ・特許と実用新案。・事業承継。
- ・就業規則（サマータイム・年間変形労働時間制）
- ・ベトナム縫製今昔、外国人労働者、実習生 など

●長崎出島支部

日 時 11月26日(火) 18:00～21:30
会 場 ホテルニュー長崎
テ ー マ 誰でもできる影響力！
報 告 者 (株)マツモト 代表取締役
松本 一孝 会員（長崎浦上支部）

スタッフやお客様、大切な家族にあなたはどんな影響を与えているでしょうか？一般的な正社員の他に学生・主婦・高齢者・障害者など多様なスタッフが働いています。そのスタッフにどんな影響をあたえるのか？で社風が作られていきます。社内での取り組みと誰でもできる影響力を今回伝授世界NO1コーチ、アンソニーロピンス氏から直接学んだ技術を日本流にアレンジして社内でも活用しています。

●大村支部

日 時 11月21日(木) 18:30～
会 場 長崎インターナショナルホテル
テ ー マ 官×民×創×論(カンミンソウロン)2019
報 告 者 園田 裕史 氏(大村市長)
中島 文雄 氏(大村市中小企業振興会議人材部会長)
(株)大幸企画 代表取締役 時 忠之 会員

●諫早支部

日 時 11月22日(金) 18:30～21:00
会 場 ロイヤルベルズ諫早
テ ー マ 日本一新鮮で美味しい魚を提供するために
～らしくない漁師の同友会での学び～
報 告 者 福栄丸 代表者
渡 慎吾 会員（五島支部）

漁師をすることになった経緯。それから数年…、祖父の教えと反省と後悔と、同友会の出会いと学び。「漁師らしくない」漁師が語る体験報告。

●島原支部(島原支部設立10周年記念講演会)

日 時 11月28日(木) 19:00～21:15
会 場 HOTELシーサイド島原
テ ー マ M&Aを活用して企業を成長発展させよう
報 告 者 (株)ホワイトクロス 代表取締役
島田 健作 氏

この度、島原支部は設立して10周年を迎えることとなりました。この10周年という節目をお祝いし、会員企業と同友会が地域の皆様と共に発展していくための1つの契機になればと考えております。

●佐世保支部

日 時 11月22日(金) 18:30～20:30
会 場 グランドファーストイン佐世保
テ ー マ 調整中
報 告 者 (株)恵比寿組 代表取締役
谷 信一郎 会員(大村支部)

●北松浦支部

日 時 調整中
会 場 調整中
内 容 調整中

●五島支部

日 時 11月20日(水) 18:30～21:00
会 場 福江文化会館会議室
テ ー マ 経営指針作りは人を生かす経営の原点！
報 告 者 チェンジコンサルティング(同) 業務執行役員
宇土 敏郎 会員(大村支部)

五島支部 11月例会は、大村支部の宇土さんより、報告をしていただきます。なぜ経営理念や経営指針が必要なのか、他支部の会員がどのような活動をしているのか等、自社に持ち帰って即実践できるような内容となっております。皆様初心に帰り、自社を見つめなおす良い機会をお見逃し無く。

●青年経営者会

日 時 11月27日(水)
会 場 佐世保にて開催予定
内 容 調整中

『中同協』第103号(第51回定時総会記録集)・中同協50年史販売のお知らせ /

中同協では、7月4～5日に東京で開催された第51回定時総会の記録集を現在制作中です。議案をはじめ、分科会報告や議論など、総会のすべてを1冊にまとめ、企業実践と同友会運動それぞれの成果や課題、ヒントを満載しています。ぜひ積極的にご活用いただき、同友会運動の推進にお役立てください。また設立50周年の年度を迎え、運動の歴史と理念に学ぶ『中同協50年史～歴史と理念に学び未来をひらく』を販売しています。ぜひ積極的にご活用ください。

- ・『中同協』第103号(第51回定時総会記録集) 価格：1,500円(税込)
- ・中同協50年史～歴史と理念に学び未来をひらく 価格：2,000円(税込)